

千本鳥居まるわかりガイド

約1万基の鳥居に込められた祈りの仕組み



▶ 千本鳥居の基本データ

約10,000

基（推定）

現在の鳥居の数

「千本」は無数という意味。実際には約1万基が稲荷山全体に立ち並ぶ。毎年新たな鳥居が奉納されている。

711年

（和銅4年）

創建年

稲荷山に神が降臨したとされる年。以来1300年以上にわたり人々の信仰を集めてきた。

約4km

（お山巡り全行程）

稲荷山の参道の長さ

山頂まで登ると約2～3時間。奥社（奥の院）まででも見どころは十分楽しめる。

24時間

参拝可能

夜も参拝できる

境内・山内は24時間開放。夜の千本鳥居は幻想的な雰囲気で、早朝・夜間参拝も人気。

▶ 鳥居奉納の仕組みと費用

項目	内容
奉納できる人	個人・法人どちらでも可能。商売繁盛・家内安全など願いを込めて奉納する
費用の目安	小：約175,000円～／中：約400,000円～／大：約1,300,000円～
鳥居の寿命	約10～20年。傷んだ鳥居は取り替えられ、新しい鳥居が奉納される
刻まれる文字	奉納者の名前・奉納日・願い事が鳥居の柱に刻まれる
申し込み方法	伏見稲荷大社の社務所に問い合わせ。企業・個人を問わず受け付けている

▶ 鳥居が増え続ける理由

願い事をする



願いが叶う



感謝の証に鳥居を奉納



鳥居が増える

✦ 鳥居の色はなぜ朱色？

朱色は古来より魔除けの色とされ、生命力・血・火を象徴する。稲荷神は農業・食物の神であり、豊穡と生命を司ることから朱色が選ばれた。また朱色の原料である水銀朱（辰砂）には防腐効果があり、木材を長持ちさせる実用的な理由もある。